



2019 市長新年の ごあいさつ

市民が主役のまちづくりの進展と 「敦賀再興」の実現に向けて

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、市政運営に對しまして賜っております温かいご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。

本市は、市政運営の羅針盤である「敦賀市再興プラン」に基づき、まちづくりを進めており、新幹線開業に向けた受け皿づくりや人口減少対策（子育て支援・人材育成等）などの課題解決に向けて、職員一丸となって取り組んでいるところです。

昨年を振り返って

〈市民総参加の国体・障スポ〉

昨年9月～10月にかけて、平成最後となる福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会が開催され、市内では、国民体育大会正式競技6競技、デモンストレー

ションスポーツ2競技、全国障害者スポーツ大会2競技が実施され、熱戦が繰り広げられました。

地元選手の活躍につきまして、国体では剣道をはじめ5競技で優勝するなど総勢26人の選手が入賞され、「チームふくい」の一員として天皇杯、皇后杯の獲得に貢献し、また、障スポにおきましても12人の選手が入賞されました。

国体・障スポが大きな感動の中で、成功裏に終えることができましたことは、選手や関係者の皆様はもろろんのごと、運営サポートをはじめとした市民総参加のご協力をいただいたおかげであり、心から感謝申し上げます。

〈交通・物流の基盤強化〉

また、昨年は、本市がこれまで要望してきた国道8号敦賀・南越前間のバイパス整備について、田結く挙野間が「敦賀防災」として

事業化され、全県的な課題である嶺南・嶺北の一体化への前進が図られようとしています。さらに、敦賀港では、鞠山南地区国際物流ターミナル拡張事業として、岸壁延伸工事が着工されるとともに、近海郵船株式会社が、現状の北海道航路に加え、敦賀港と博多港を結ぶRORO船の定期航路を、本年春に新規開設することが発表されるなど、敦賀港のさらなる利用促進が期待されます。

〈公共交通の利便性向上〉

このほかにも、敦賀駅、新正田駅など、県内のJR北陸本線全駅でのICカードの利用が始まったことや、二次交通であるコミュニティバスなどの利用促進に向けて、鉄道その他の公共交通機関との乗換・経路検索が可能な「乗換検索システム」、バスの運行情報をリアルタイムで確認できる「バ

進に努めてまいります。

新たな年も、「市民が主役のまちづくり」を進め、敦賀再興の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

本年も皆様にとりまして、幸多い1年となりますことを、心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

敦賀市長
測上隆信

新たな年に向けて

〈新幹線開業に向けた受け皿づくり〉

さて、本市の新たな発展の契機となる北陸新幹線敦賀開業が、2023年春に迫り、市内におきましても、新幹線駅舎や車両基地などの整備が皆様の目に見える形で進められるようになりました。本市といたしまして、その受け皿づくりとして、金ヶ崎周辺におきましては、人道の港敦賀ムゼウムの充実に取り組み、他市にない敦賀のオンリーワンの地域資源である人道の港ブランドの確立と市民の皆様がやさしい人柄を受け



▲公設地方卸売市場の敷地内に設置される水素インフラ設備のイメージ図（東芝エネルギーシステムズ提供）

〈産業の複軸化と水素エネルギー〉

新たな産業・エネルギー政策として、長期的な視点に立ち、産業構造の複軸化やエネルギーの多元化を目指す「ハーモニアスポリス構想」の策定に取り組んでおり、今年度中に本構想を取りまとめる予定です。今後、市民の皆様が新しい敦賀の発展の息吹を感じる事ができるよう、市内における民間企業の研究開発の活性化や水素ステーションの実証事業など、新産業の創出や水素エネルギーの活用に向けた取り組みを展開してまいります。

〈安全安心の確保に向けて〉

本市の防災上、また、治水上の最重要課題であります笹の川水系の整備については、河川断面を確保するため、来迎寺橋の橋桁を本年の出水期までに撤去する予定です。1日も早い本市の防災上の課題解決、そして市民の皆様の安全安心の確保に向け、全力で整備促



▲笹の川の治水対策として、平成31年の出水期までに撤去する予定の来迎寺橋



▲敦賀駅前立体駐車場の完成イメージ